

2020 年度

# 事業報告書

自 2020 年 4 月 1 日

至 2021 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本ライフセービング協会  
JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION  
( J L A )

## 目 次

### 【公益目的事業】

- < 1 > 監視救助事業
- < 2 > 資格認定事業
- < 3 > 安全・防災教育・環境保全事業
- < 4 > 競技推進事業
- < 5 > 国際交流事業
- < 6 > 広報活動事業
- < 7 > その他の事業

### 【その他の事業】

- < 1 > 認定ライフセーバー養成のための資格認定事業

備考：表記について

- ・国際ライフセービング連盟 → I L S
- ・日本ライフセービング協会 → J L A

## 【公益目的事業】

ライフセービングに関する公益目的事業として、海岸・プール等をはじめとする全国の水辺の事故防止に向けた安全教育、監視・救助、防災・防災教育、環境保全等を行うライフセービングの普及・啓発及び発展に関する事業を行う。

### < 1 > 監視救助事業

#### 1. 監視救助業務

(1) 監視救助業務とは、海岸や河川、プール等の水辺に海水浴客やスポーツイベント等の来客が訪れた際、その監視と救助を行う事業である。

本協会では静岡県、東京都、和歌山県、神奈川県自治体から各海水浴場の監視救助活動業務の依頼を受けて事業を実施した。また、その他の自治体については、都道府県協会又は各クラブがその依頼を受けて事業を実施しており、本協会はそれらについては管理監督のみを行った。ただし、今後は迅速な対応が求められることなどから、都道府県協会や各クラブが事業を実施する形態に順次移行していく方針である。

|    | 海水浴場名            | 地区       | 期間        |         |          |         |
|----|------------------|----------|-----------|---------|----------|---------|
| 1  | 熱川温泉 You 湯ビーチ    | 静岡県東伊豆町  | 8/1-8/23  |         |          |         |
| 2  | 今井浜海水浴場          | 静岡県河津町   | 8/1-8/30  |         |          |         |
| 3  | 土肥海水浴場           | 静岡県伊豆市   | 7/23-8/25 |         |          |         |
| 4  | 小土肥海水浴場          |          |           |         |          |         |
| 5  | 乗浜海水浴場           | 静岡県西伊豆町  | 7/23-10/6 |         |          |         |
| 6  | 深田海水浴場           |          |           |         |          |         |
| 7  | 田子瀬浜海水浴場         |          |           |         |          |         |
| 8  | 松崎海水浴場           | 静岡県松崎町   | 7/23-8/23 |         |          |         |
| 9  | 岩地海水浴場           |          |           |         |          |         |
| 10 | 石部海水浴場           |          |           |         |          |         |
| 11 | 雲見海水浴場           | 東京都新島村   | 8/8-8/31  |         |          |         |
| 12 | 新島地区・第一前浜海水浴場    |          |           |         |          |         |
| 13 | 新島地区・第二前浜海水浴場    |          |           |         |          |         |
| 14 | 新島地区・第四前浜海水浴場    |          |           |         |          |         |
| 15 | 新島地区・間々下浦海水浴場    |          |           |         |          |         |
| 16 | 新島地区・若郷前浜海水浴場    |          | 8/8-8/31  |         |          |         |
| 17 | 新島地区・羽伏浦海水浴場     |          |           |         |          |         |
| 18 | 式根島地区・泊海水浴場      |          |           |         |          |         |
| 19 | 式根島地区・大浦海水浴場     |          |           |         |          |         |
| 20 | 式根島地区・中の浦海水浴場    |          |           |         |          |         |
| 21 | 式根島地区・石白川海水浴場    | 和歌山県白浜町  | 7/20-9/1  |         |          |         |
| 22 | 白良浜海水浴場          |          |           |         |          |         |
| 23 | 神奈川県協定/三浦海岸      |          |           | 神奈川県三浦市 | 7/1-8/31 |         |
| 24 | 神奈川県協定/森戸海岸      |          |           |         |          |         |
| 25 | 神奈川県協定/一色海岸      |          |           |         |          |         |
| 26 | 神奈川県協定/長者ヶ崎・大浜海岸 |          |           |         |          |         |
| 27 | 神奈川県協定/逗子海岸      |          |           |         |          | 神奈川県鎌倉市 |
| 28 | 神奈川県協定/材木座海岸     |          |           |         |          |         |
| 29 | 神奈川県協定/由比ガ浜海岸    |          |           |         |          | 神奈川県藤沢市 |
| 30 | 神奈川県協定/片瀬東浜海岸    |          |           |         |          |         |
| 31 | 神奈川県協定/片瀬西浜・鵠沼海岸 |          |           |         |          | 神奈川県大磯町 |
| 32 | 神奈川県協定/大磯海岸      |          |           |         |          |         |
| 33 | 神奈川県協定/湯河原海岸     | 神奈川県湯河原町 |           |         |          |         |

(2) スポーツイベント (\*オープンウォータースイミングやトライアスロン、水泳等) の監視とその救助を行った。

\* 「オープンウォータースイミング」海、川、湖など、自然の水の中で行なわれる長距離の水泳競技であり、国際水泳連盟が定める競技規則のもと国際的に統一されたルールで行われ、遠泳とは異なる。OWS と略す。

| 事業内容                     | 開催日           | ライフセーバー参加延数 | 会場      |
|--------------------------|---------------|-------------|---------|
| 日本トライアスロン連合<br>日本選手権     | 11月8日         | 11          | お台場海浜公園 |
| 日本マスターズ水泳協会<br>ジャパンマスターズ | 11月28日～11月29日 | 2           | 千葉国際プール |

## 2. 水辺の溺水事故防止に向けた調査研究

ライフセービングレポート（全国パトロール統計）の集計および、レスキューレポート、疾病者等記録票の検証とフィードバック、水浴場調査を実施した。

当協会に加盟するライフセービングクラブが全国において監視救助活動を行った結果を集計し、それを公表することで水辺の溺水事故防止につなげる事業である。

結果は例年当協会の事業報告書により公表され、2020年度においては報告海水浴場計107か所、たずさわったライフセーバー総数は13,877人、パトロール延べ時間は76,194時間であった。

|                   | 2020年                        | 2019年                         | 2018年                           | 2017年                          | 2016年                           | 2015年                           |
|-------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 報告海水浴場            | 107                          | 197                           | 200                             | 195                            | 204                             | 197                             |
| 水浴客総入込数           | 1,498,088                    | 8,289,594                     | 9,522,415                       | 8,524,042                      | 11,727,383                      | 11,260,363                      |
| レスキュー総数           | 289                          | 2,128                         | 2,362                           | 1,776                          | 2,276                           | 3,163                           |
| Preventive Action | 284                          | 2,113                         | 2,334                           | 1,761                          | 2,239                           | 3,123                           |
| Emergency Care    | 6<br>(死亡3)<br>(蘇生2)<br>(不明1) | 15<br>(死亡7)<br>(蘇生8)<br>(不明0) | 28<br>(死亡16)<br>(蘇生11)<br>(不明1) | 15<br>(死亡4)<br>(蘇生10)<br>(不明1) | 37<br>(死亡9)<br>(蘇生15)<br>(不明13) | 40<br>(死亡16)<br>(蘇生16)<br>(不明8) |

## 3. 監視救助活動の推進に向けた器材等配備支援

全国のライフセーバー及びライフセービングクラブに対して、監視救助活動で利活用する器材等の配備を行った。有償で支援を行っているが、原価及び管理経費による支出のため利益を伴う事業ではない。

(1) 監視救助用ユニフォーム等の配備支援

- ・対象：JLA 認定資格所有者
- ・内容：パトロールユニフォーム、パトロール水着等

| 監視救助用ユニフォーム   | 数量  |
|---------------|-----|
| パトロールユニフォーム長袖 | 3   |
| パトロールユニフォーム半袖 | 102 |
| ビーチパトロールシャツ半袖 | 24  |
| プールライフセーバー半袖  | 14  |
| サーフパンツ男子      | 118 |
| サーフパンツ女子      | 66  |

|               |    |
|---------------|----|
| 男子水着ボクサー型 1   | 15 |
| 男子水着ボクサー型 2   | 36 |
| 男子水着ブーメラン型 1  | 14 |
| 男子水着ブーメラン型 2  | 29 |
| 女子水着トップス型 1   | 5  |
| 女子水着トップス型 2   | 5  |
| 女子水着ボクサー型 1   | 0  |
| 女子水着ボクサー型 2   | 1  |
| 女子水着ブーメラン型 1  | 6  |
| 女子水着ブーメラン型 2  | 4  |
| ラッシュガード       | 34 |
| サーフハット        | 1  |
| つば付きキャップ      | 44 |
| パトロールキャップ綿型   | 19 |
| パトロールキャップ伸縮無型 | 30 |
| パトロールキャップ伸縮有型 | 35 |

(2) 監視救助用器材等の配備支援 ※日本財団助成事業

- ・対象：都道府県協会及び加盟クラブ
- ・内容：レスキューチューブ、レスキューボード、IOT 等を活用した監視救助システム

| 配備品                       | 数量    |
|---------------------------|-------|
| レスキューボード                  | 73 本  |
| レスキューチューブ                 | 217 本 |
| IOT 監視救助システム（福井県若狭和田海水浴場） | 一式    |

(3) 熱中症対策用飲料水等の配備支援 ※協賛：大塚製薬工場(株)

- ・対象：都道府県協会及び加盟クラブ
- ・内容：飲料水、ゼリー

| 配備品     | 数量              |
|---------|-----------------|
| 経口補水液   | 50 箇所 22, 128 本 |
| 経口補水ゼリー | 50 箇所 4, 530 個  |

## < 2 > 資格認定事業

以下の資格認定講習会、更新講習会及びライフセービングサポーター講習会は「JLAアカデミー」と称する教育機関が実施した。JLAアカデミーは、本協会が有する水辺の事故防止や人命救助に関する専門的・総合的な技術や技能、知識等を身に付けるための機会を広く社会に提供することを目的としている。また、その目的を達成するため体系的な資格認定プログラムを有している。

### 1. 資格認定講習会の開催

JLA では、誰もが身につけるべき「自分自身を守る、溺れないためのプログラム」「もしも隣で人が倒れた場合の対処を学ぶプログラム」から、「実際に事故を未然に防ぎ、溺者を助ける救助技術」まで、水辺の悲しい事故をゼロにするための資格講習会を開催しており、それぞれのコースについての資格認定をしている。

\*当該資格認定事業では、ライフセーバーを養成することを目的としていない。広く人命救助と水辺の悲しい事故の減少に資するための資格認定講習会である。

\*ライフセーバーの認定についてはBLS（CPR+AED）コース及びWater Safety コースの両コースを取得し、さらに上位の知識、技能を得るための講習の受講が必要であり、不特定多数の者の利益の増進に寄与する事業とは言えず、またライフセーバーの人員確保という相互扶助の面から、その他の事業（相互扶助等事業）として実施する。

・資格認定講習会及び更新講習会等の開催

以下の2種類の資格認定講習会を開催し資格の認定を行った。また、資格取得者に対して更新講習を実施した。

(1)\*BLS（CPR+AED）コース

\*BLS・・・Basic Life Support（一次救命処置）

心肺蘇生とAED、気道異物の除去の3つを合わせてBLSという。

\*CPR・・・cardiopulmonary resuscitation（心肺蘇生法）

質の高い心肺蘇生とAED等の修得を目指し、人命救助、傷病者の「社会復帰」を目標に講習を実施する。

(2)\*Water Safety コース

\*水辺において自身を守ることのできる知恵や技能のこと。

水辺における活動やアクアスポーツ等の中で自らの安全を確保し、ライフセービングの最も基礎となる知識と技術を備え、水辺の事故を防止することを目的とし実施する。

資格「更新」認定基準

・JLA認定の資格を有すること

・水辺の事故防止及び救命等を目的に行われる資格講習会等を通じて、JLAが同等認定として認める専門的知識及び技術を満たす資格を有すること

■資格認定講習会及び更新講習会等の開催

| 資格名              | 開催数 | 資格発行数 |
|------------------|-----|-------|
| BLSコース           | 100 | 1,117 |
| Water safety コース | 50  | 511   |
| 資格更新講習会          | 159 | 1328  |

2. ライフセービングサポーター講習会の開催 ※日本財団助成事業

子どもの保護者や民間スポーツクラブのインストラクター、学校教員に向けた安全教室として、企業研修、学校の授業として広く一般の要望に合わせた各種安全教育プログラム「ライフセービングサポーター講習会」を実施した。プールでのウォーターセーフティやAED、応急処置などの体験ができる。

| サポーター講習会     | 開催数 | 修了証発行数 |
|--------------|-----|--------|
| BLS          | 19  | 1,535  |
| Water Safety | 14  | 576    |
| 合計           | 33  | 2,111  |

3. 資格認定講習会及びライフセービングサポーター講習会等の普及・促進に係る支援事業

地方開催での資格認定講習会（指導員養成、更新講習会含む）での指導員に関わる派遣旅費を支援した。また、ライフセービングサポーター講習会での実施諸経費を一部支援した。

## < 3 >安全・防災教育・環境保全事業

### 1. 安全・防災教育の普及・啓発に向けた教育支援活動

#### (1) 臨海学園へのライフセービング指導協力

中学生に対して、ライフセーバーを派遣してライフセービングの指導・防災教育を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

| 主催                | 日程                  | 会場            | 参加予定者数  |
|-------------------|---------------------|---------------|---------|
| 北区教育委員会<br>岩井臨海学園 | 中止<br>(7月21日～8月14日) | 岩井海岸（千葉県南房総市） | (1,474) |

#### (2) 小中学校等へのライフセービング指導協力

小中学校からの依頼により児童生徒に対して、ライフセーバーを派遣してライフセービングの指導・防災教育を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

| 主催                      | 日程 | 会場                | 参加予定者数 |
|-------------------------|----|-------------------|--------|
| 品川区立戸越台中学校<br>着衣水泳プログラム | 中止 | 戸越台中学校プール（東京都品川区） | (100)  |

また、海洋教育支援推進に向けた ICT 教育のプログラム開発を行った。

#### ■ ICT 教育用プログラム開発（継続事業） ※日本財団助成事業

##### ① 目的

JLA として初等中等教育における海洋教育を広く推進していくために、水辺の安全教育は必須と考える。水泳を含めた水辺教育のファンデーションプログラムとなる「安全に関する知識と技能習得」のための ICT 教育の開発を目的とした。小学校、中学校学習指導要領改訂に伴う「水泳」における「安全確保につながる運動」「水泳の事故防止に関する心得」等を反映したウォーターセーフティプログラムの構築を行った。その上で水泳や水辺の活動に潜む危険への理解や、危機回避能力を養うための ICT 教育プログラムを軸として開発した。

##### ② 目標

2019 年度に完成した「海編」に加え、「プール編」「川編」を追加制作した。

##### ③ 事業の成果物

- ・水辺の安全に関する知識と技術習得のための ICT 教育コンテンツ
- ・名称 JLA e-Lifesaving（ジェイエルエー イーライフセービング）
- ・URL <https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/>

#### (3) 学校教員への研修協力

教員を対象とした一次救命処置や水辺の事故防止研修会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

| 主催                    | 日程 | 会場              | 参加予定者数 |
|-----------------------|----|-----------------|--------|
| 足立区教育委員会<br>水泳事故防止研修会 | 中止 | 千住温水プール（東京都足立区） | (60)   |

| 主催                    | 日程    | 内容/会場   | 参加者数 |
|-----------------------|-------|---|------|
| 東京私立中学高等学校協会<br>教員研修会 | 10月9日 | ICT を活用した水辺の安全教育とコロナ禍における BLS 教育の在り方（オンライン研修） | 11   |

## 2. 安全・防災教育の普及・啓発に向けた調査研究

### 防災力強化事業

防災教育の推進及び公的救助機関と連携した。特に地震発生後の津波に対する備えや対策について、以下の通り連携を図った。

| 連携機関   | 連携内容  | 成果   |
|--|---|--|
| 気象庁  | 2019年度「津波警報等の視覚による伝達のあり方検討会」へ担当理事を有識者として派遣しガイドラインを策定した。それを受けて2020年度は「津波旗」の普及促進に向けて津波旗の普及ポスターの製作や普及ビデオの制作に取り組んだ。また、地方気象台と都道府県ライフセービング協会との連絡窓口の情報交換を実施した。 | (1) 津波旗ポスター製作<br>(2) 津波旗デモ映像制作<br>(3) 気象庁と日本ライフセービング協会が「水難事故防止・防災に関する協定」を2020年12月24日に締結<br>(4) 大分地方気象台と大分県ライフセービング協会が「水難事故防止・防災に関する協定」を2021年3月11日に締結 |
| 気象庁ホームページ 津波フラッグ解説ページ<br><a href="http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html">http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html</a> |   |  |

## 3. 安全・防災教育の普及・啓発に向けた教室・研修会の開催

### (1) ジュニア・ライフセービング教室の開催 ※日本財団助成事業

全国の子どもを対象にジュニア・ライフセービング教室を開催し、「自分の命は自分で守る」等の安全・防災教育を実施した。

| No | 開催日  | 主催         | 会場                      | 参加者数 |
|----|------|------------|-------------------------|------|
| 1  | 2/20 | 盛岡 LSC     | 遠野市民センター研修室<br>遠野市民プール  | 15   |
| 2  | 2/28 | 静波 LSC     | 静波海岸<br>静波 LSC クラブハウス   | 8    |
| 3  | 3/7  | 鹿嶋 LGT     | 平井海水浴場                  | 4    |
| 4  | 3/13 | 館山 SLSC    | 館山市北条海岸<br>館山サーフクラブ大賀寮  | 28   |
| 5  | 3/20 | 小樽 LSC     | 野幌総合公園運動場 講習室<br>同会場プール | 13   |
| 6  | 3/21 | 天橋立 LSC    | 静の里温水プール                | 13   |
| 7  | 3/28 | 勝浦 LSC     | 勝浦中央海岸<br>勝浦市墨名区 区民間    | 28   |
| 8  | 3/28 | 湘南ひらつか LSC | 湘南ひらつかビーチパーク            | 21   |
| 9  | 3/28 | 若狭和田 LSC   | 若狭和田ビーチ<br>若狭和田公民館      | 3    |
|    |      |            |                         | 133  |

### (2) ジュニア・ライフセービング教室の開催に関する資器材等の配備支援 ※日本財団助成事業

- ・対象：都道府県協会及び加盟クラブ等
- ・内容：ニッパーボード、ジュニアテキスト、ジュニアキャップほか

| ジュニア・ライフセービング教室関連資器材 | 数量  |
|----------------------|-----|
| ライフジャケット             | 90  |
| ジュニア用ラッシュガード         | 270 |

|                        |       |
|------------------------|-------|
| ジュニアテキスト               | 1,280 |
| ビーチカルタ                 | 9     |
| 水辺の安全啓発クリアファイル         | 300   |
| Jr 教室掲出用ポップアップパネル      | 9     |
| ライフセービングサポーター修了証 BLS 編 | 1,535 |
| ライフセービングサポーター修了証 WS 編  | 576   |

(3) 青少年に対する研修会

ライフセービングを担う人材を育成するために大学生を対象とした研修会を実施した。

| 日程    | 会場      | 参加者数       |
|-------|---------|------------|
| 2月28日 | オンライン会議 | 25 大学 39 名 |

(4) 「水辺の事故ゼロ」を目指し、より質の高い監視救助活動を行うことを目的に、溺水事故防止に関する事項、溺水事故の事例検証について情報共有する研修会やライフセーバー自身のスキルアップを目的とした研修会を実施した。

■シミュレーション審査会 ※日本財団助成事業

| 日程     | 会場            | 参加チーム数                    |
|--------|---------------|---------------------------|
| 9月12日  | 御宿中央海水浴場（千葉県） | ・4チーム 24名<br>・スタッフ他 83名   |
| 10月24日 | 葉山大浜海岸（神奈川県）  | ・10チーム 60名<br>・スタッフ他 115名 |
| 12月20日 | オンライン審査会      | 121名                      |

■スキルアップ研修会

| 日程     | 内容             | 会場         | 参加者数 |
|--------|----------------|------------|------|
| 10月11日 | サーフトレーニングクリニック | 田ノ浦海岸（大分県） | 20   |
| 12月20日 | レスキューミーティング    | オンライン      | 121  |

(5) インフレーターブルレスキューボート（IRB）に関する消防向け教育カリキュラムの開発と IRB レスキュー技術に関する研修会等の開催 ※日本財団助成事業

浮遊物が多い洪水や津波・高潮などの水災害において、より多くの要救助者を運搬する機材として優位であるインフレーターブルレスキューボート（IRB）に関し、全国の消防を対象にした教育カリキュラムの開発と IRB レスキュー技術に関する研修会等を開催し、ライフセーバーと全国消防が連携することで、より多くの救助が可能な体制の構築を図った。

■ IRB を用いた救助技術講習会

| 日程    | 参加地域消防        | 参加者数 |
|-------|---------------|------|
| 7月17日 | 東京消防庁部会（東京都）  | 16   |
| 9月18日 | 倉敷市消防局（岡山県）   | 16   |
| 9月19日 | 津山圏域消防本部（岡山県） | 11   |
| 3月7日  | 日田玖珠広域消防（大分県） | 9    |

4. 環境保全活動

全国の水辺の清掃、また水辺を利用する一般市民に対して環境保全についての教育を行った。

■ ビーチクリーン活動

| 主な日程       | 会場               | 主な内容      |
|------------|------------------|-----------|
| 7月1日～8月31日 | 各地の海水浴場等（約100カ所） | ビーチクリーン活動 |

■ ビーチクリーン活動及び飲酒での水難事故撲滅推進

| 実施方法        | 主な内容                                      |
|-------------|---|
| 映像によるキャンペーン | 飲酒による水難事故の撲滅と飲酒マナーの向上<br>「飲んだら泳がないキャンペーン」 |

< 4 > 競技推進事業

ライフセービング競技会の開催

ライフセービング競技の目的は人命救助にある。実際の現場での救助の際には瞬時に必要とされる行動をとれる技術の錬磨と基礎体力が必要であり、それには日頃の救助技術等の練習、訓練、体力づくりがその基礎となる。技術の向上、持久力や基礎体力の向上には他者との競い合いが最も近道であり、結果そこで仲間と連帯感の向上、技術の再確認等がなされる。そのことが人命救助へとつながるのである。競技種目はビーチ種目、スイム種目、ボード&サーフスキー種目、オーシャンマンレース等があり、その対象もジュニア（小学生）、ユース（中学生/高校生）学生、社会人など幅広い。

1. JLA 主催競技会の開催

年間を通じてプールや海岸で競技大会を実施する予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

（全日本選手権、全日本プール競技選手権、全日本学生選手権、全日本学生プール競技選手権、全日本種目別選手権、全日本ジュニア選手権、全日本ユース選手権、全日本マスターズ競技会）。

| 開催日        | 大会名                    | 参加数 | 会場             |
|------------|------------------------|-----|----------------|
| 5月16日～17日  | 第33回全日本プール競技選手権        | 中止  | 横浜国際プール（神奈川県）  |
| 5月30日～31日  | 全日本ジュニア/ユース/マスターズ（ビーチ） | 中止  | 横浜海の公園（神奈川県）   |
| 6月13日～14日  | 第33回全日本種目別選手権          | 中止  | 若狭和田ビーチ（福井県）   |
| 6月20日～21日  | 三洋インターナショナルカップ2020     | 中止  | シーサイドももち（福岡県）  |
| 8月29日～30日  | 全日本ジュニア/ユース/マスターズ（サーフ） | 中止  | 外浦海岸（静岡県）      |
| 9月12日      | 全日本 近畿地区予選会            | 中止  | 白良浜海水浴場（和歌山県）  |
| 9月13日      | 第20回オシャンサーフチャレンジ in 白浜 | 中止  | 白良浜海水浴場（和歌山県）  |
| 9月19日～20日  | 全日本 北関東地区予選会           | 中止  | 御宿海岸（千葉県）      |
| 9月19日～20日  | 全日本 南関東地区予選会           | 中止  | 平塚ビーチパーク（神奈川県） |
| 9月19日～20日  | 全日本 東海地区予選会            | 中止  | 下田白浜海岸（静岡県）    |
| 10月3日～4日   | 第35回全日本学生選手権           | 中止  | 御宿海岸（千葉県）      |
| 10月10日～11日 | 第46回全日本選手権             | 中止  | 片瀬西浜海岸（神奈川県）   |
| 1月30日～31日  | 第12回全日本学生プール競技選手権      | 中止  | 富士水泳場（静岡県）     |
| 2月13日～14日  | 全日本ジュニア/ユース/マスターズ（プール） | 中止  | 世田谷プール（東京都）    |

**2. 選手強化等事業** ※協賛：(株)三洋物産/(株)三洋販売  
ライフセービング競技における競技者の競技力強化・育成事業を実施した。

■強化合宿・研修合宿等事業

主に強化指定選手（ハイパフォーマンスチーム：以下 HPT）を中心に国内または海外での強化合宿等を実施し競技力向上を図った。なお、海外での実施は中止とした。

| 日程    | 対象   | 内容                 |
|-------|------|--------------------|
| 7月12日 | HPT  | スポーツ栄養学研修会（オンライン）  |
| 7月19日 | コーチ等 | 言語技術研修会（オンライン）     |
| 3月7日  | HPT  | オーシャン及び IRB トライアウト |
| 3月14日 | HPT  | プールトライアウト          |
| 3月28日 | HPT  | 第12期キックオフミーティング    |

■国際競技会等への代表選手選定及び派遣事業

主に強化指定選手を中心に国際競技会へ代表選手を派遣する予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

| 大会名                           | 大会期間            | 会場             |
|-------------------------------|-----------------|----------------|
| 三洋インターナショナルカップ2020            | 中止（6月22日～23日）   | シーサイドももち（福岡県）  |
| Lifesaving World Championship | 中止（9月18日～10月5日） | イタリア共和国/リッチョーネ |

**3. スポーツ教室等開催事業**

小・中・高校生、学生及び一般を対象にライフセービングスポーツの楽しさと基礎的な技術の習得を通じて地域のライフセービングスポーツの普及・振興を図る予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

**4. ドーピング防止活動推進事業** ※スポーツ振興くじ助成事業

国内外のドーピング防止活動の動向を踏まえ、日本アンチ・ドーピング機構に加盟・連携し、ドーピング防止教育・啓発活動を実施する予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

## ■アンチ・ドーピング研修会及びドーピング検査

| 日程 | 内容  | 参加対象 | 参加者数 |
|----|-----|------|------|
| 中止 | 検査  | *    | *    |
| 中止 | 研修会 | *    | *    |

## < 5 > 国際交流事業

### 国際会議及び関係諸国への派遣

JLAはILSへの国内唯一の加盟団体として、その責務を果たす役割があり、これまでも様々な国際事業に積極的に取り組んできた。今後も水辺の事故ゼロに向け国際貢献するべくより一層の国際交流を深め、世界情勢を把握したうえで国際的な活動を推進していく。ILS主催の総会や理事会、各種専門委員会や事業にJLA役員や委員を派遣しネットワークの構築や情報収集を実施し、ILSの戦略プランの遂行に貢献した。

| 会議名                            | 参加者                  | 日程        | 開催地     |
|--------------------------------|----------------------|-----------|---------|
| ILS 総会/理事会<br>ILSアジア環太平洋地区 理事会 | 入谷拓哉<br>相澤千春<br>中川容子 | 3月20日～21日 | オンライン会議 |
| ILS 理事会                        | 中川容子                 | 3月27日     | オンライン会議 |

国際ライフセービング連盟（ILS）役員及び専門委員会等

- (1) 中川容子；ILS 理事、ILS アジア環太平洋地区理事、ILS Drowning Prevention Commission
- (2) 石川仁憲；ILS Rescue Commission
- (3) 宮部周作；ILS Sports Commission、Multi-Sport Games Committee Chair
- (4) 木村智美；Multi-Sport Games Committee
- (5) 栗栖清浩；Lifesaving Sport Regulations Committee
- (6) 青木将展；Future of Lifesaving Sport Committee
- (7) 泉田昌美；Lifesaving Sport for All Committee

※退任 相澤千春 ILS 理事（2009-2012、2016-2020）

## < 6 > 広報活動事業

### 1. パブリシティ活動

当協会の事業を一般へ伝達・周知するため、マスメディアへのパブリシティ広報活動を行った。

| 取材媒体 | 件数 |
|------|----|
| 新聞   | 13 |
| 雑誌   | 3  |
| 専門誌  | 2  |
| テレビ  | 20 |
| ラジオ  | 2  |

## 2. インターネット利活用による情報発信

公式ホームページや SNS を通じて当協会の理念や事業活動を情報発信した。

| 媒体名               |             | 件数      |
|-------------------|-------------|---------|
| 公式 JLA サイト        | ページビュー (PV) | 235,675 |
| 公式 LIFESAVING サイト | ページビュー (PV) | 374,544 |
| 公式フェイスブック         | フォロワー数*     | 5,617   |
| インスタグラム           | フォロワー数*     | 1,853   |

\*は 2021/5/17 現在 それ以外は 2020/4/1～2021/3/31 数値

## 3. 広報資料の作成

プレスリリース等の広報資料を通じて当協会の理念や事業活動を情報発信した。

| 媒体名     | 件数 |
|---------|----|
| プレスリリース | 9  |

## < 7 > その他の事業

### 1. 関係諸団体との連携推進

当協会の理念や活動目的に賛同・協力する地方ブロック協会、都道府県協会や加盟クラブ、関連団体と積極的に連携し、外部団体や広く国民に対してライフセービングの普及・促進を図った。また、関係する官公庁や教育諸機関及びスポーツ諸団体等との積極的な連携も促進した。

| 会議名等           | 日程     | 内容                   |
|----------------|--------|----------------------|
| 都道府県協会 代表者会議   | 5月30日  | 25 都道府県協会の代表者との意見交換会 |
| 都道府県協会 代表者会議   | 10月31日 | 25 都道府県協会の代表者との意見交換会 |
| 中国ブロック 代表者会議   | 3月6日   | ブロック内都道府県協会との意見交換会   |
| 南関東ブロック 代表者会議  | 3月6日   | ブロック内都道府県協会との意見交換会   |
| 東海ブロック 代表者会議   | 3月14日  | ブロック内都道府県協会との意見交換会   |
| 北信越ブロック 代表者会議  | 3月14日  | ブロック内都道府県協会との意見交換会   |
| 九州沖縄ブロック 代表者会議 | 3月17日  | ブロック内都道府県協会との意見交換会   |
| 近畿ブロック 代表者会議   | 3月17日  | ブロック内都道府県協会との意見交換会   |
| 北関東ブロック 代表者会議  | 3月20日  | ブロック内都道府県協会との意見交換会   |

|                 |       |                    |
|-----------------|-------|--------------------|
| 九州沖縄ブロック 代表者会議  | 3月20日 | ブロック内都道府県協会との意見交換会 |
| 北海道東北ブロック 代表者会議 | 3月20日 | ブロック内都道府県協会との意見交換会 |
| 四国ブロック 代表者会議    | 4月17日 | ブロック内都道府県協会との意見交換会 |

| 連携団体          | 主な内容  |
|---------------|---|
| 気象庁           | ① (新規)津波旗ポスター製作<br>② (新規)津波旗デモ映像制作<br>③ (新規)「気象庁と日本ライフセービング協会との水難事故防止・防災に関する協定」を締結(2020年12月24日)                                   |
| 海上保安庁         | ① (継続)「海の安全推進本部・海の安全推進アドバイザー」として担当理事が委嘱される<br>② (継続)「新たな海上安全指導員制度構築に関する委員会」へ担当理事を有識者委員として派遣<br>③ (新規)水辺の安全教育プログラム推進「e-Lifesaving」 |
| 消費者庁          | (継続)消費安全課より「消費者安全調査委員会専門委員」として担当理事を有識者として派遣   |
| スポーツ庁         | ① (継続)スポーツ施設等安全管理講習会へのJLA指導員派遣の協力依頼<br>② (継続)水辺の安全に関する知識と技術習得のためのICT教育コンテンツ「JLA e-Lifesaving」の情報提供(長官表敬訪問)                        |
| 日本水泳連盟        | (継続)日本水泳連盟主催オープンウォータースイミング競技会及び国民体育大会へのセーフティオフィサー及びライフセーバー派遣  |
| 日本トライアスロン連合   | (継続)日本トライアスロン連合主催競技会及び国民体育大会への安全担当員及びライフセーバー派遣  |
| 日本サーフィン連盟     | (継続)中止/日本サーフィン連盟主催「サーフスクール」へのJLA指導員派遣   |
| 日本マスターズ水泳協会   | (継続)日本マスターズ水泳協会主催ジャパンマスターズ競技会への安全担当員及びライフセーバー派遣   |
| 日本救護救急学会      | (継続)JLAメディカルダイレクター他役員が理事として参画   |
| 日本臨床救急医学会     | (新規)学会シンポジウムに役員等が参加及び関係者学会報告  |
| 病院前救護統括体制認定機構 | (継続)担当役員等が理事、統括医師研修認定委員会委員、救急救命士研修認定委員会委員として参画  |
| 吉川慎之介記念基金     | (新規)水辺の安全教育プログラム推進「e-Lifesaving」  |
| 河川財団          | (新規)水辺の安全教育プログラム推進「e-Lifesaving」  |

|          |   |
|----------|---|
| 御宿町（千葉県） | (継続)IoT 監視救助システム「海辺のみまもりシステム」による離岸流事故防止活動の実施（導入3年目）                           |
| 宮崎市（宮崎県） | (継続)IoT 監視救助システム「海辺のみまもりシステム」による離岸流事故防止の活動の実施（導入2年目）                          |
| 高浜町（福井県） | (新規)IoT 監視救助システム「海辺のみまもりシステム」の導入（導入1年目）                                       |
| 神奈川県     | (新規)「連携と協力に関する包括協定」の締結。海岸における水難事故防止等に向けた取り組みの推進と安全・安心な海岸づくりの実現を図る（2020年6月19日） |
| 国際武道大学   | (新規)「ライフセービングスポーツの発展と人材の育成・強化に関する包括協定」の締結。（2021年4月1日）                         |

## 2. J L A 認定海水浴場認証事業 ※日本財団助成事業

I L S のリスク評価指標に基づき J L A 独自の海水浴場の安全性を総合的に評価し認証する「J L A 認定海水浴場認証事業」を行った。

|                    | 実施箇所  |
|--------------------|---|
| 新規 6 箇所<br>更新 1 箇所 | (新規) 銚子マリーナ海水浴場/千葉県<br>(新規) 片貝海水浴場/千葉県<br>(新規) 不動堂海水浴場/千葉県<br>(新規) 海の公園海水浴場/神奈川県<br>(新規) 片瀬西浜・鶴沼海水浴場/神奈川県<br>(新規) 田ノ浦海水浴場/大分県<br>(更新) 由比ヶ浜海水浴場/神奈川県 |

## 【その他の事業】

### (事業実施の背景)

人命救助、水辺の事故の減少、防止のためにはライフセービングの普及と同じく、実際に人命救助を行うライフセーバーの存在が不可欠であるが、日本国内ではその数がまだまだ不足している。このような現状では、水辺の事故を防止することも、人命を救助することも困難となる。そこで、当事業では主に海、プール等で活動する認定ライフセーバーを養成する講習を開催し、正しい知識と技術をもったライフセーバーとしてその資格を認定する。認定された者は「認定ライフセーバー」の名称を使用し、活動することができる。

### (事業の目的)

全国の水辺の事故防止、事故の減少、人命救助、水辺の安全利用の促進を図るため、認定ライフセーバー等の養成を行う。

### (事業の内容)

以下のコース別の資格認定講習会、研修会は「J L A アカデミー」と称する教育機関が実施する。J L A アカデミーは、本協会が有する水辺の事故防止や人命救助に関する専門的・総合的な技術や技能、知識等を身に付けるための機会を広く社会に提供することを目的としている。また、その目的を達成するため体系的な資格認定プログラムを有している。

### < 1 > 認定ライフセーバー養成のための資格認定事業

認定ライフセーバーの資格は大きく以下のコースに分類されている。

- (1) サーフライフセービングコース
- (2) プールライフガーディングコース
- (3) \*IRB コース \*Inflatable Rescue Boat・・・救助用ボートの意
- (4) Jr. エデュケーションコース

さらに最上位資格として「アシスタントインストラクター」「インストラクター」(指導員) 資格がある。

すべての事業に共通して、

1. ウォーターセーフティ及びBLS (CPR+AED) コースの受講が完了し、両者の資格を保有していなければ、その上位資格である上記各コースの資格を取得することはできない。以下上記2つの資格を「基礎資格」とする。
2. 15歳以上でなければ資格を取得できない。
  - (1) サーフライフセービングコース  
基礎資格を有した上で、取得できる資格は、ベーシックサーフライフセーバー及びアドバンスサーフライフセーバー資格である。
  - (2) プールライフガーディングコース  
基礎資格を有した上で、取得できる資格はプールライフガード及びアドバンスプールライフガード資格である。
  - (3) IRB コース  
基礎資格及びベーシックサーフライフセーバーの資格を有した上で、取得できる資格はIRBクルー及びIRBドライバー資格である。
  - (4) Jr. エデュケーションコース  
基礎資格及びベーシックサーフライフセーバー又はプールライフガードの資格を有した上で、取得できる資格はリーダー資格である。

<アシスタントインストラクター・インストラクター資格：指導員資格について>

最上位資格として

- ・ウォーターセーフティアシスタントインストラクター
- ・ウォーターセーフティインストラクター
- ・サーフライフセービングアシスタントインストラクター
- ・サーフライフセービングインストラクター
- ・プールライフガーディングアシスタントインストラクター
- ・プールライフガーディングインストラクター
- ・IRBアシスタントインストラクター
- ・IRBインストラクター
- ・ジュニアライフセービングアシスタントインストラクター
- ・ジュニアライフセービングインストラクター

の各指導員資格を取得できる。これらの資格は共通して各コースの下位資格を取得した上で実務経験等の条件を満たした者が取得できるものである。

(認定審判員養成講習会及び審判員研修会の開催)

ライフセービング競技会等で審判を行うための講習会を開催し、C級審判員の資格を認定した。さらに審判員に対する研修会を実施した。

審判員の認定については、認定審判員規程に従いこれを認定する。その他、上級審判としてS、A、B級審判員を定めている。

指導員資格更新認定基準

1. JLA認定の指導員資格を有すること。
2. 水辺の事故防止及び救命等を目的に行われる資格講習会等を通じて、JLAが同等認定として認める専門的知識及び技術を満たす資格を有すること。

その他の資格・審判員「更新」認定基準

1. JLA認定の資格を有すること。
2. 水辺の事故防止及び救命等を目的に行われる資格講習会等を通じて、JLAが同等認定として認める専門的知識及び技術を満たす資格を有すること。

#### ■認定ライフセーバー資格認定

| 資格名             | 開催数 | 発行数 |
|-----------------|-----|-----|
| ベーシックサーフライフセーバー | 28  | 301 |
| アドバンスサーフライフセーバー | 6   | 53  |
| IRB クルー         | 2   | 8   |

|                |     |       |
|----------------|-----|-------|
| IRB ドライバー      | 3   | 10    |
| プールライフガード      | 11  | 59    |
| アドバンスプールライフガード | 2   | 7     |
| リーダー           | 0   | 0     |
| 資格更新           | 159 | 1328  |
| 指導員（新規）        | 5   | 38    |
| 指導員（継続）        | 1   | 25    |
| 合計             | 217 | 1,829 |

■BLS 指導員養成講習会 ※日本財団助成事業

| 日程                   | 会場                              | 合格者 |
|----------------------|---------------------------------|-----|
| 10月24日、25日、31日、11月1日 | 国立オリンピック記念青少年総合センター<br>(東京都渋谷区) | 6   |
| 11月20日、21日、22日、23日   | 国立オリンピック記念青少年総合センター<br>(東京都渋谷区) | 14  |
| 12月5日、6日、12日、13日     | キャンパスプラザ京都<br>(京都市下京区)          | 7   |
| 1月9日、10日、16日、17日     | 三保研修会館<br>(静岡県静岡市)              | 8   |
| 1月23日、24日、30日、31日    | 神崎校区公民館<br>(大分県大分市神崎)           | 3   |
|                      | 合計                              | 38  |

■ウォーターセーフティ指導員養成講習会 ※日本財団助成事業

| 日程         | 会場                          | 合格者 |
|------------|-----------------------------|-----|
| 8月8日、9日    | 横浜市立釜利谷南小学校<br>(神奈川県横浜市)    | 2   |
| 11月20日、21日 | 北谷公園水泳プール<br>(沖縄県北谷町)       | 4   |
| 12月19日、20日 | 静の里温水プール<br>(京都府京丹後市)       | 10  |
| 2月6日、7日    | 東京都内のプール<br>(東京都)           | 8   |
| 3月13日、14日  | 大分市スイミングスクール光吉校<br>(大分県大分市) | 3   |
| 3月26日、27日  | 静岡県富士水泳場<br>(静岡県富士市)        | 8   |
|            | 合計                          | 35  |

■サーフライフセービング指導員養成講習会 ※日本財団助成事業

| 日程            | 会場                       | 合格者 |
|---------------|--------------------------|-----|
| 9月20日、21日、22日 | 三浦海岸<br>(神奈川県三浦市)        | 4   |
| 3月27日、28日、29日 | 渡嘉敷島とかしくビーチ<br>(沖縄県渡嘉敷村) | 4   |

|  |    |   |
|--|----|---|
|  | 合計 | 8 |
|--|----|---|

■ プールライフガーディング指導員養成講習会 ※日本財団助成事業

| 日程            | 会場                            | 合格者 |
|---------------|-------------------------------|-----|
| 11月7日、8日      | 静岡県立水泳場<br>(静岡県静岡市)           | 6   |
| 11月1日、22日     | 北谷公園水泳プール<br>(沖縄県北谷町)         | 5   |
| 11月7日、21日、22日 | ブリヂストンスイミングスクール宗像<br>(福岡県宗像市) | 5   |
|               | 合計                            | 16  |

■ RWC(Rescue Water Craft)指導員養成講習会 ※日本財団助成事業

| 日程                | 会場                  | 合格者 |
|-------------------|---------------------|-----|
| 3月6日、7日、8日、9日     | 静岡県立水泳場<br>(沖縄県中城村) | 4   |
| 3月19日、20日、21日、22日 | 森戸海岸<br>(神奈川県葉山町)   |     |
|                   | 合計                  | 4   |

■ C級認定審判員養成講習会

| 日程          | 会場              | 合格者 |
|-------------|-----------------|-----|
| 11月14日      | キャンパスプラザ京都(京都府) | 12  |
| 12月12日      | オンライン           | 20  |
| 12月13日      | オンライン           | 15  |
| 2月20日       | オンライン           | 20  |
| 2月21日       | オンライン           | 20  |
| 3月14日       | 成城学園(東京都)       | 5   |
| 3月20日(午前の部) | オンライン           | 20  |
| 3月20日(午後の部) | オンライン           | 16  |
|             | 合計              | 128 |

■ 審判員研修会

| 日程     | 会場    | 参加者 |
|--------|-------|-----|
| 10月10日 | オンライン | 6   |
| 10月11日 | オンライン | 9   |
| 3月6日   | オンライン | 7   |
| 3月7日   | オンライン | 7   |
|        | 合計    | 29  |

(以上)